特記仕様書

本特記仕様書に記載している事項のほか、日本建築家協会編「建築工事共通仕様書」及び関連設計図並に当市監督員（設計事務所工事監理者を含む）の指示に従い誠実に施工し工期内に完成しなければならない。

1 一般事項

1・1 **工事名称** 寝屋川市立啓明小学校増築工事

1・2 **工事場所** 寝屋川市高柳町6丁目730番地

1・3 **敷地面積** 17,177.00 M²

1・4 **構造** 鉄筋コンクリート造 3階建

建築面積 360.00 M²・1F 360.0M²・2F 360.0M²・3F 360.0M²

延 面積 1,080.00 M²

1・5 **工事範囲**

1 主体建築工事一式（雨水.雑排水.竪樋工事は除く）
2 電気設備工事（引込・火災警報装置・放送設備を含む）
3 給排水.衛生.ガス設備工事（室内消火栓設備・雨水・排水竪樋工事を含む）
4 外構工事（コンクリート縁石・芝張・砂利敷・植樹等）
5 既設建物接続部の取り撤去及び渡廊下一部解体撤去改修工事
6 既存遊戯具（ジャングル・トンネル2本・ブランコ・スベリ台）及び樹木2本移設工事

1・6 **工事期間** 昭和46年 月 日 昭和 年 月 日

1・7 **諸手続** 建築確認申請以外の本工事に必要な諸官公署への諸手続等は請負業者にて一切行い.その費用は業者の負担とする。

1・8 **提出書類**

当市が規定する書類のほか.工事日報・入荷材料報告・諸材料試験報告・工事計画並に工事工程表・工程写真及び竣工写真・基礎杭打結果報告書.防水工事保証書その他係員が必要と認めたもので、書式、部数、提出期日等は係員が指示する。

2 仮設工事

2・1 進入路

現地調査の上係員及び学校側と充分協議の上決定すること。諸材料運搬のため,校内外の道路工作物等を破損したときは速やかに係員に連絡し係員の指示に従い迅速に復旧すること.

2・2 仮囲柵

危害防止のための工事現場周囲の仮囲柵と作業場のための仮囲柵を.係員及び学校側と協議の上決定し設けること.尚作業場出入口及び運動場への出入口附近は,材料搬入車輛の進入路に当るので.危険防止のため必らず番人を置くこと.

2・3 監理者用事務所

工事作業場内に設置する、規模、構造、設備.備品等は別途係員が指示する.

2・4 鉄製矢板布設

工事現場と水路との狭隘部分には漏水及び危害防止の見地より鉄製矢板を布設し、工事完了後取除くこと.

3 土工事

3・1 残土処分

場外に搬出し自由処分とする.

4 杭工事

4・1 基礎杭

PC杭 φ350 ℓ=12m+12m=24m （43本）

試験杭 φ350 ℓ=13m+13m=26m （3本）

それぞれJIS-A-5335合格品とし.メーカーは大日コンクリート(株)・大同コンクリートパイル.浅野パイル製品又は同等品以上とし.設計杭耐力は55 ton/本（長期）N値50以上とする.尚工法はアースオーガー工法（モルタル注入）による.

4・2 杭長の増減

杭長に増減を生じた場合は長さの総計の10%迄は金額の増減はしない.

4・3 杭打止め

杭打止め貫入量は.予め係員の承認を得るものとし.各杭の打止め貫入量支持力を記録.報告しなければならない、この場合杭支持力の計算は係員の指示を受けること.

4・4 杭頭処理

杭頭処理.切捕へはノミ切りとし周囲から平手に打撃を加えて.上端をなるべく水平にし.鉄筋は所要の長さを残し残余は切断すること.

5 鉄筋工事

5・1 材料

JIS-G-3112の規定によるSR-24（規格品以上）・SD-30（規格品以上）とし梁・柱主筋 — SD-30・その他 — SR-24とする.

5・2 材料試験

JIS-G-3112による寸法許容差で.引張試験・曲げ試験を公共試験所又は試験設備ある学校にて行い.その成績表を提出すること.試験材料は係員立合の上抜取り.鉄筋の径及び製造所が異なる毎に1回宛6本とし.長さは試験所の指示による.

6 コンクリート工事

6・1 コンクリート

レディミクストコンクリートとし.JIS-A-5308に定めるA種とし.構造用コンクリートの4週圧縮強度は180 Kg/cm² 以上とする.

6・2 生コン業者

JIS表示工場とし運搬距離・運搬時間・設備等を検討の上.メーカーを選定し係員の承認を得て発注すること.

6・3 供試体

試験体採取の方法はJIS-A-1115により係員立合の上採取し.基礎・各階毎に4本以上とし.公共試験所又は試験設備を有する学校にて試験を行い.その成績表を提出すること.但し破壊試験の1週強度については、生コン製造業者で実施してもよい.

7 防水工事

7・1 アスファルト防水

屋根は（非歩行）田島応用化工SC-315(8層)工法とし.便所その他は.B-1工法（6層）とする.特記なきかぎり立上りは30cm以上とし.末端及び出入隅は網状ルーフィングにて増貼となすこと.何れも責任施工とし建設業者と防水施工業者の連名にて15年保証書を提出すること.

7・2 防水層保護

屋根立上りは煉瓦半枚積防水モルタル仕上とし.便所立上りはラスモルタル塗とする.

7・3 コーキング詰

共通仕様書防水工事9-4によるも.特記なきかぎり10mm×10mmを標準とする.材料は.エバーシール.三星コーキング・ABCコーキング又は同等品以上とし.係員の承認を受けること.

7・4 混入防水剤

アスニュー・ロータス・ウォータイト・マノール等又は係員の承認する同等品以上とする.

8 組積工事

8・1 コンクリートブロック

空洞ブロック10cm厚とし、JIS-A-5406のC種とする.

8・2 補強筋

特記なきかぎり タテ 9φ@400 ヨコ 9φ@600とする.

9 タイル工事・石工事

9・1 型状寸法図示による.メーカーは伊奈.有田製品又は同等品以上とし.見本品提出の上決定するものとする.

9・2 テラゾーブロック 型状寸法図示による.見本品提出の上決定するものとする.

10 木工事

10・1 工法及び材料

工法及び材料共に共通仕様書B種とする.見えがかり造作材は桧（上小節以上）南洋桜とし、ラワン材は防虫加工材とする.尚造作材の記入寸法は仕上寸法とする.

10・2 防腐処理

直接コンクリート又はコンクリートブロック等に接する木材は全て防腐剤（クレオソート）塗りとする.

11 金属工事

11・1 竪樋保護管 …… 炭素鋼鋼管125（外径139.8mm） ℓ=2.00m O.P塗仕上

11・2 樋支持金物 …… FB 19×4 亜鉛鍍金O.Pとし取付間隔は1.2m内外とする.

11・3 受 桝 …… カラー鉄板#26 250×200（点検口付）

11・4 ノンスリップ …… ステンレス製ゴム入 巾30mm 見本品により決定する.

11・5 便所金物 …… 頭つなぎ・足取付金物はステンレス製とし市場品の見本にて決定する.

11・6 タラップ …… 型状寸法図示による.鉄製とし亜鉛鍍金の上OP仕上とする.

11・7 カーテンレール …… ヨコタ金属製C型又は同等品以上とする.

11・8 アルミ製マット …… 中博光商店製又は同等品以上とする.

11・9 真鍮製目地棒 …… 平安式又は同等品以上とし見本品提出の上決定する.

11・1 屋上天蓋 …… 型状寸法は図示による.屋根マンホール角型公団型とする.

11・11 ダストシュート投入口 …… 協和 S4型（345×390）又は同等品以上とする.

11・12 ルーフドレン・フロアドレン …… 型状寸法は図示による.鋳鉄製コールタール焼付.見本品により決定.

11・13 インサート …… 東洋建材工業 SS-C型又は同等品以上とする.

12 左官工事

12・1 防水モルタル

外部廻り詰めモルタルは係員の承認を得た防水剤入りモルタルとする.

12・2 プラスター …… 石コウプラスターとする.

12・3 外部吹付材

外壁モルタル刷毛引セラカット吹付は.塗見本を提出し係員の承認を得、責任施工とする.

12・4 人造石研出し

見本品製作の上色合.種石・粒度等係員の承認を得て決定する.

13 金属建具工事

13・1 鋼製建具

鉄板はボンデライト処理の亜鉛鍍鋼材を使用し.特記なきかぎり.枠見込85以上の軽量サッシュでジンクロメート塗装を施こしたものとする.製作図面を提出の上.係員の承認を受けること.尚製品は係員の検査の上取付けること.

13・2 製作業者

実績.工場設備等を勘案して業者を選定し、発注契約前に係員の承認を受けること.

13・3 建具金物

見本を提出し係員の承認を受けること.

13・4 防火戸

型状寸法は図示による.フロアーヒンジ・ヒューズ付.くぐり戸付とする.尚製作図面を提出し係員の承認を受けること.尚製品は係員の検査の上取付ること.

13・5 ダストシュート取出し口扉

型状寸法図示による.円付とする.

14 木製建具工事

14・1 木製建具

見込36mm 材料は米桧とする.便所廻りフラッシュドアーに使用する合板は鋸材とし板厚は4mm耐水一類.他は二類とする.

15 硝子工事

15・1 硝子

硝子は日本板硝子(株)・旭硝子(株)製品又は同等品以上とし、パテ付とする.

15・2

16 プラスチック工事

16・1 排水樋

型状寸法図示による.竪樋は硬質塩化ビニール管（内径100mm 厚7mm）を使用し床排水管は（内径50mm 厚7mm）竪樋に準じる.

16・2 天井換気孔

外部に使用するものは.プラスチック製（内径38mm）L型とし防虫網入とする.

内部に使用するものはプラスチック製（内径38mm）とする.

17 塗装工事

17・1 内外装用塗料

油性（O.P）ビニール（V.P） 等のメーカーは日本ペイント(株)関西ペイント(株)大日本塗料(株)東亜ペイント(株)又は同等品以上とし係員の承認を受けること.

18 内装工事

18・1 フローリングブロック

厚15mm ブナ材足付とし.O.S.W塗とする.

18・2 アスベストボード

PS上部蓋に使用し.厚25mm 浅野スレート製品又は同等品以上とする.

18・3 ビニル合板

厚2mmとし見本品提出の上決定する

18・4 有孔ハードボード

厚3.5mmとし目透し貼.目地底O.P塗とし.日本ハードボード製品又は同等品以上とする.特記なきかぎり寒冷紗裏貼とする.

18・5 吸音防火ハイライト

厚9mmとし日本防火ライト製品又は同等品以上とする.

19 雑工事

19・1 黒板

型状寸法図示による.木製黒板とする.青井黒板(株)久保黒板(株)播州黒板(株)製品又は同等品以上とし、プラスチック製チョークボックス付とする.

19・2 掲示板

型状寸法図示による.製品については黒板に準ずる

19・3 衣服掛パイプ

φ25mm ステンレス製（受金物共）とする.

19・4 ピクチャーレール

黒板業者の同一製品とする.

19・5 室名札

プラスチック製とし.各室（便所・物置を含む）一ヶ所宛取付ける.尚製品は.黒板業者と同一製品とする.

19・6 ロッカー等

教師用.生徒用ロッカー.下足棚.掃除具入.全て家具製作とし.防虫加工ラワン材を使用するものとする.

20 屋外附帯工事

20・1 芝張

高麗芝平張とし.図示個所による.

20・2 植樹

豆つげ7本 図示個所に植樹するものとする.

20・3 砂利敷

型状寸法・個所は図示による.

20・4 コンクリート製縁石

型状寸法・個所は図示による.

20・5 雨水排水会所及び排水管

型状寸法・個所は図示による.

21 撤去工事

21・1 撤去工事

既設建物接続部及び渡り廊下の本工事に関連する梁・床版等の解体撤去は係員の指示に基き構造強度に支障なきよう入念に解体撤去し.解体材は全て場外に搬出することとする.

22 其他補修工事

22・1 補修工事

既設建物接続部並に本工事に関連した既設建物の損傷及び汚染等の仕上及び改修を要するものは.図示なきも本工事に含むものとする.

以上.

内部仕上表

	床	巾木	腰	壁	天井	備考
普通教室	ブナフローリングブロック㋣15mm O・S・W塗	木製 O.P H=75	モルタルコテ押エ V.P	ベニヤ下地スポンジシート貼 ベニヤ板 4mm ソコ目 O.P 柱型 モルタルコテ押エ V.P	吸音防火ハイライト㋣9mm 梁型 プラスターコテ押エ	曲面・背面黒板、掲示板、行事黒板、掃除具入 教師、生徒用ロッカー、ピクチャーレール、衣服掛パイプ、カーテンレールC型
便所	磁器モザイクタイル貼		細掛モザイクタイル貼	プラスターコテ押エ	無孔ハードボード目スカシ貼 O.P	耐水ベニヤフラッシュパネル（間仕切）
洗面・手洗場	磁器モザイクタイル貼	人造石研出し H=130		モルタルコテ押エ V.P	仝 上	洗面・手洗い、掃除用流し、掃除具入、P.S・O.S
廊下	人造石研出しシンチュー目地棒入	人造石研出し H=100		仝 上	有孔・無孔ハードボード目スカシ貼 O.P	下足棚、傘立
階段室	仝 上	仝 上		モルタルコテ押エ目地切,上V.P ガラスブロック化粧目地積	プラスターコテ押エ	ステンレス製ノンスリップゴム入、手摺ラワンO.S.CL
物置	モルタルコテ押エ㋣40mm			モルタルコテ押エ目地切	仝 上	タラップ、天蓋

外部仕上表

		備考
巾木	モルタルコテ押エ	
外壁	モルタル刷毛引セラカット吹付仕上.（特殊仕上）. 柱型カラコンモザイクタイル貼（40×40）.	
屋根	均しモルタル㋣15mmの上アスファルト防水8層 SC-315工法.	
樋	硬質塩化ビニール管（内径100mm）竪樋保護管 炭素鋼管125（外径139.8mm）ℓ=2.00m O.P塗仕上.	

土間コンクリート	㋣120mm 鉄筋配筋タテヨコ共 9φ @300シングル配筋 ステコンクリート㋣30mm 割栗石㋣120mm.	
P.S 内部	コンクリート打放（化粧なし） 一部コンクリートブロック㋣100mm積み.	
D.S 内部	モルタルコテ押エ、一部防水モルタルコテ押エ.	
ピット内部	防水モルタルコテ押エ、一部コンクリート打放（化粧なし）.	

竣功図

寝屋川市立 啓明小学校 増築工事設計図
図番 A/1
特記仕様書 仕上表
製図 松井
校閲
縮尺
昭46年9月10日
株式会社 隆建設計事務所